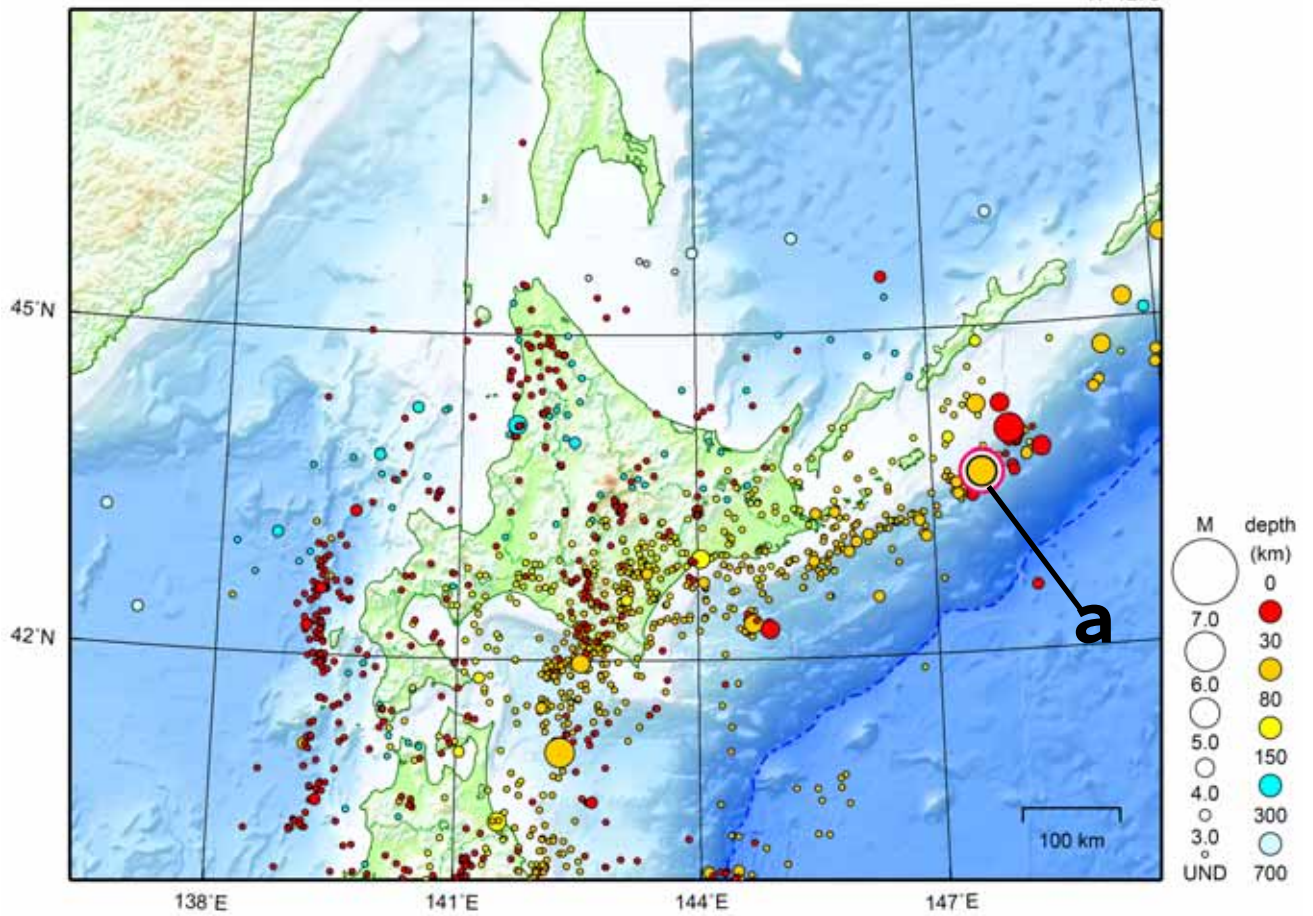


北海道地方

2008/08/01 00:00 ~ 2008/08/31 24:00

N=1270



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 8月14日に北海道東方沖で M5.4 (最大震度3) の地震があった。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

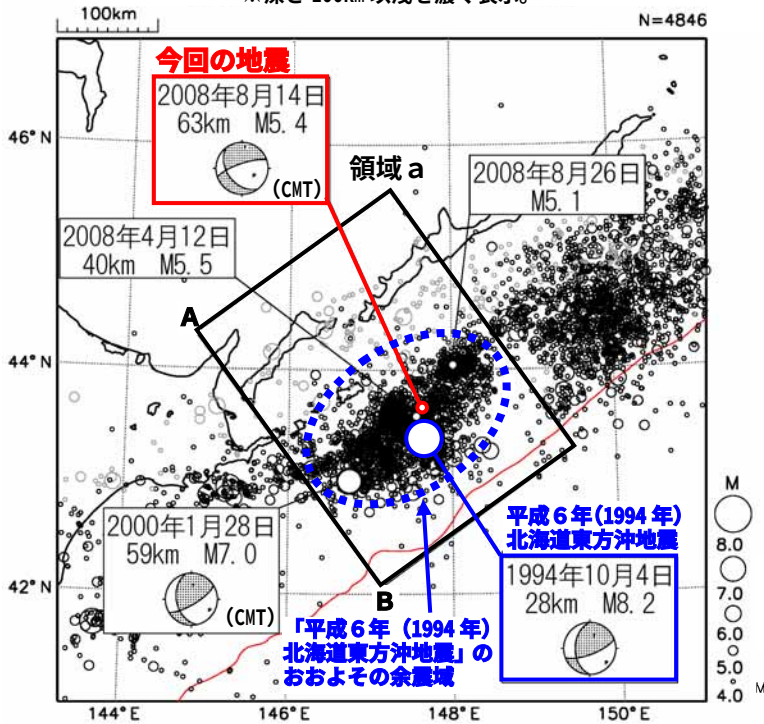
気象庁・文部科学省

8月14日 北海道東方沖の地震

震央分布図

(1994年10月以降、深さ0~200km、M $\geq$ 4.0)

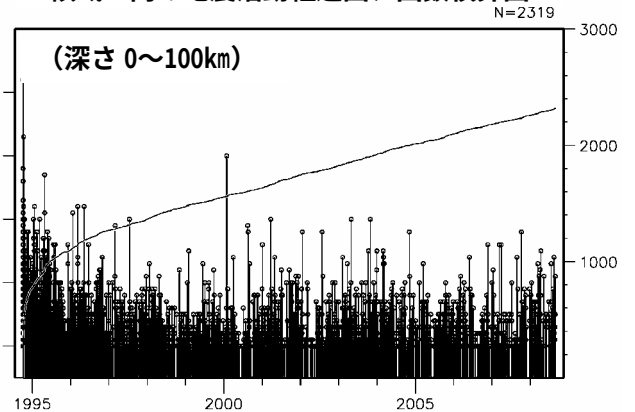
※深さ100km以浅を濃く表示。



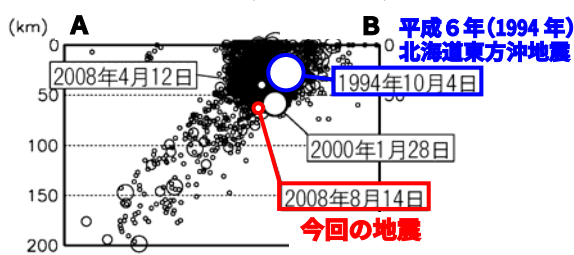
2008年8月14日20時10分に北海道東方沖の深さ63kmでM5.4(最大震度3)の地震が発生した。発震機構(CMT解)は南北方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した地震である。今回の地震の震源は、同じくプレート内部で発生した「平成6年(1994年)北海道東方沖地震」(M8.2、最大震度6)の余震域に位置している。なお、今回の地震の震源から北東に約50km離れた場所で8月26日にM5.1(震度1以上の観測なし)の地震が発生している。

「平成6年(1994年)北海道東方沖地震」以降の活動を見ると、この余震域の南西端に接するところで2000年1月28日にM7.0(最大震度4)の地震が発生している。

領域 a 内の地震活動経過図、回数積算図

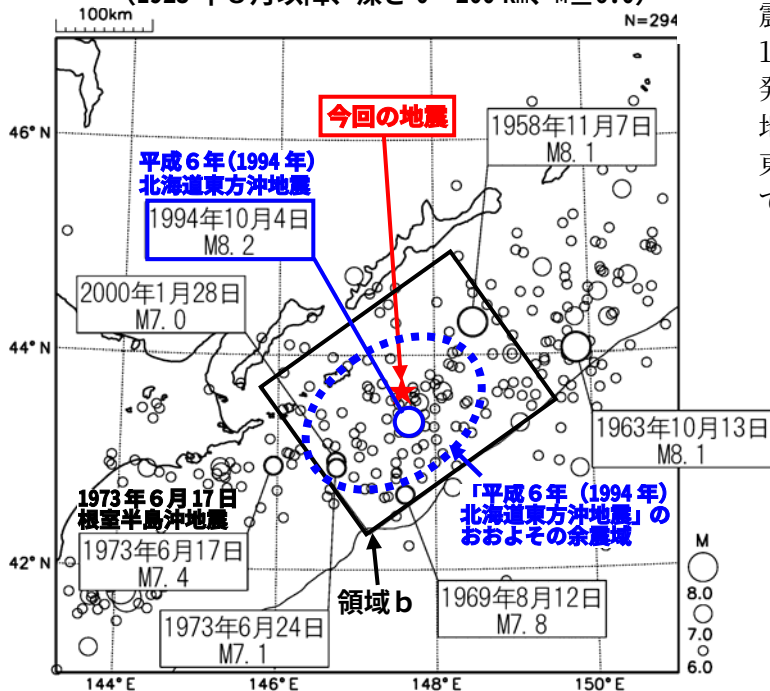


領域 a の断面図 (A-B 投影)



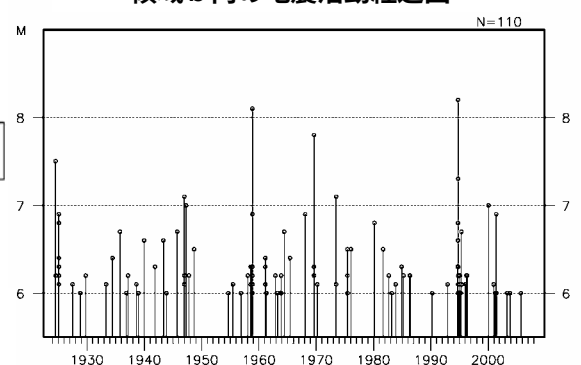
震央分布図

(1923年8月以降、深さ0~200km、M $\geq$ 6.0)

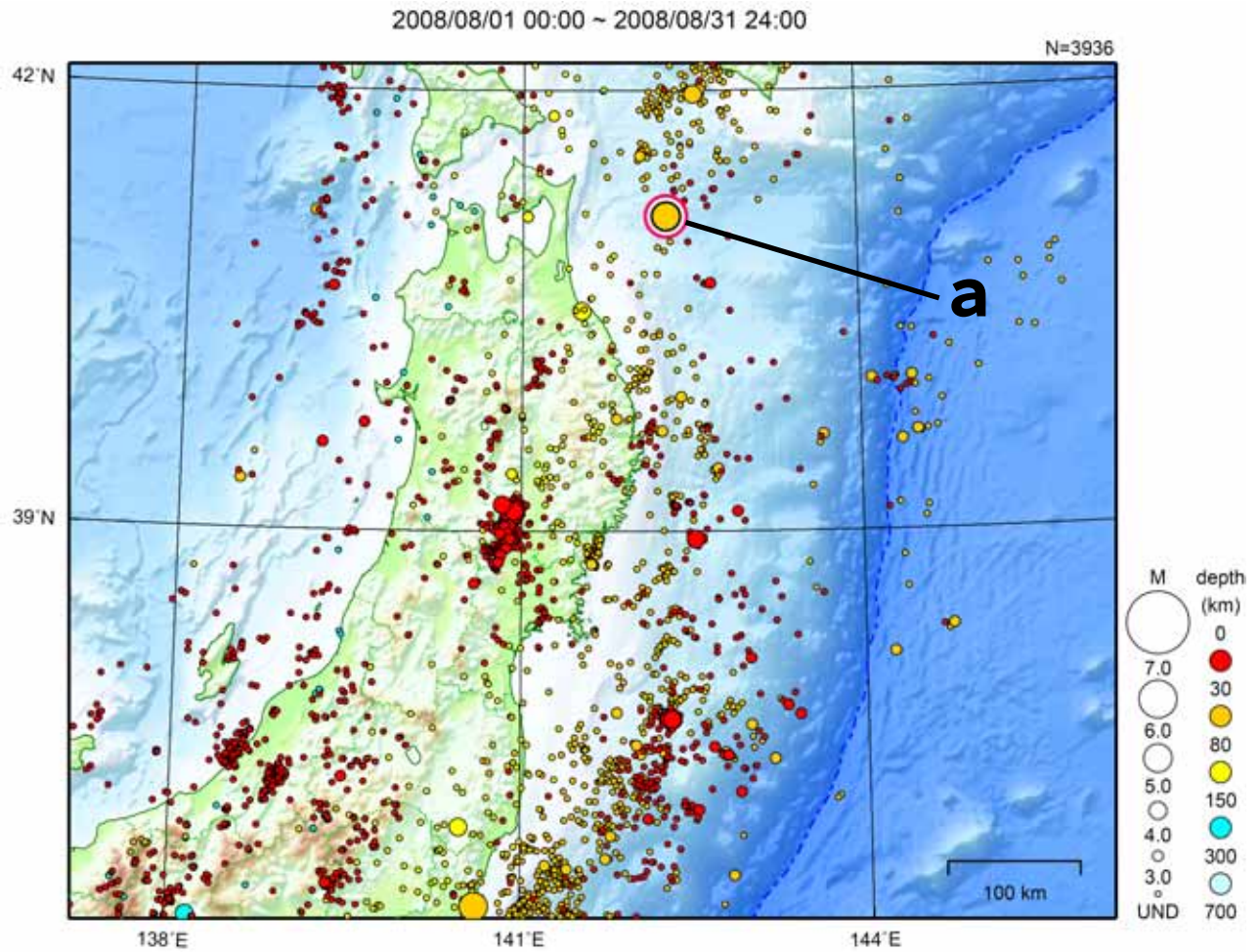


1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域b)では、1969年8月12日の地震(M7.8)のようにプレート境界で発生した地震のほかに、1958年11月7日の地震(M8.1)や「平成6年(1994年)北海道東方沖地震」(M8.2)のようにプレート内部でも、M8クラスの地震が発生している。

領域 b 内の地震活動経過図



東北地方



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

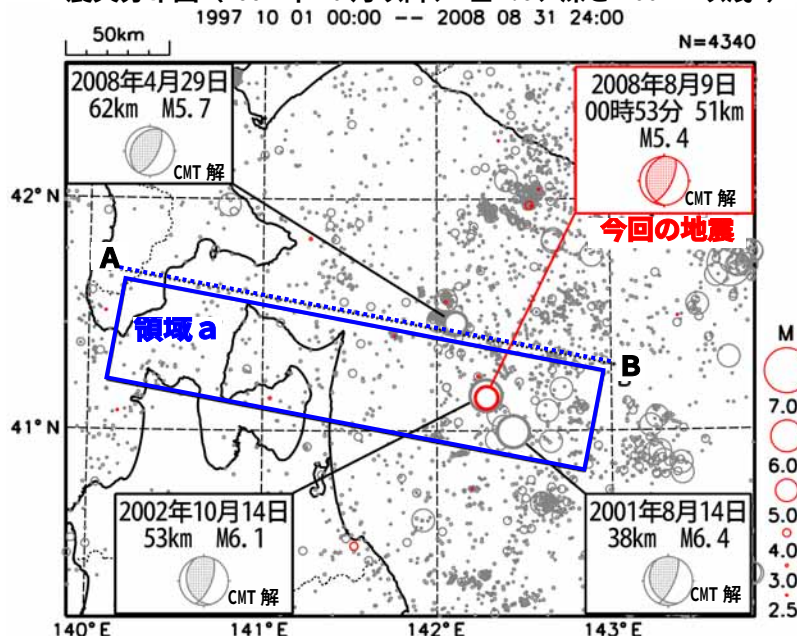
a) 8月9日に青森県東方沖で M5.4 (最大震度3) の地震があった。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3 以上のいずれかに該当する地震。]

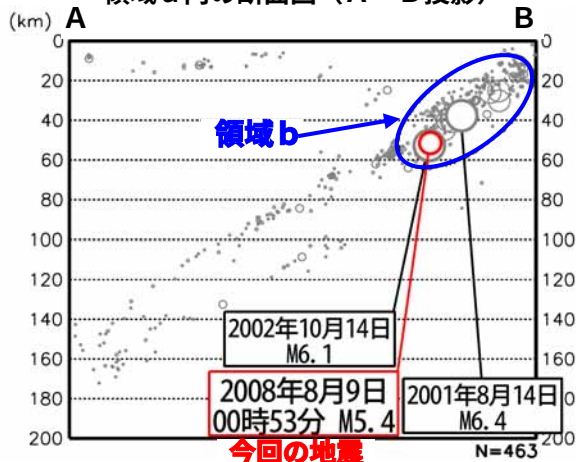
気象庁・文部科学省

8月9日 青森県東方沖の地震

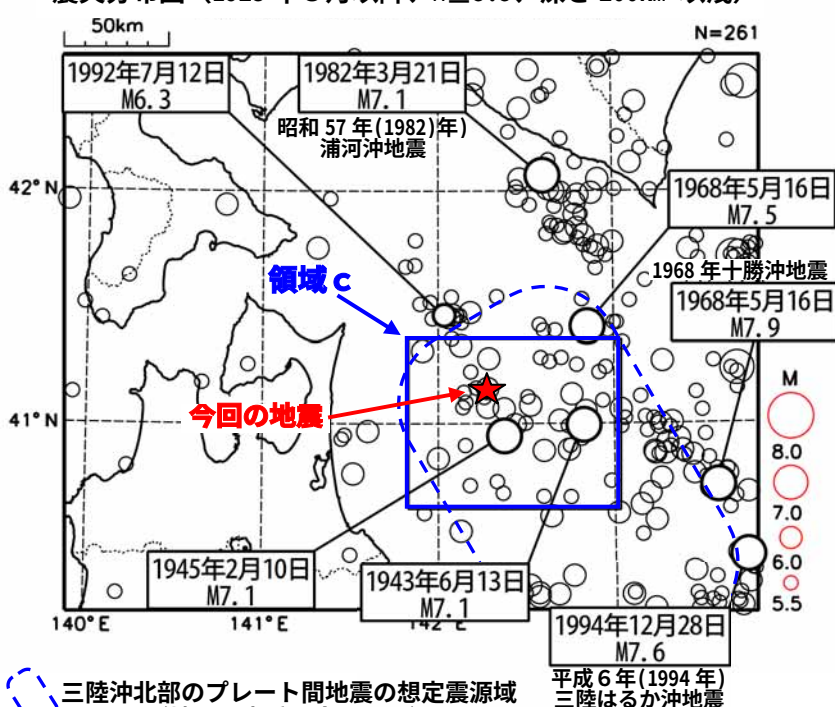
震央分布図 (1997年10月以降、 $M \geq 2.5$ 、深さ200km 以浅)



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図 (1923年8月以降、 $M \geq 5.5$ 、深さ200km 以浅)

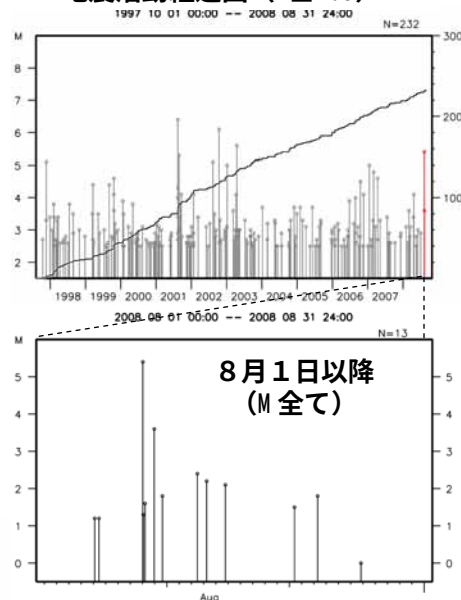


三陸沖北部のプレート間地震の想定震源域 (地震調査委員会による)

2008年8月9日00時53分に青森県東方沖でM5.4 (深さ51km、最大震度3) の地震が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。余震は同日23時21分にM3.6 (震度1以上の観測なし) が発生したものの、活動は低調である。

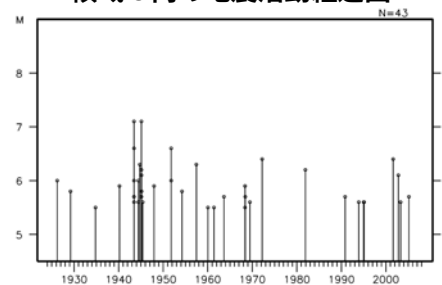
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では2001年8月14日にM6.4 (深さ38km、最大震度4) が発生している。また、今回の地震とほぼ同じ場所で2002年10月14日にM6.1 (深さ53km、最大震度5弱) の地震が発生している。

領域b内の回数積算図および地震活動経過図 ($M \geq 2.5$)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域c) はM6を超える地震が時々発生するなど地震活動が活発なところで、1943年6月13日と1945年2月10日にはM7.1の地震 (ともに最大震度4) が発生している。

領域c内の地震活動経過図



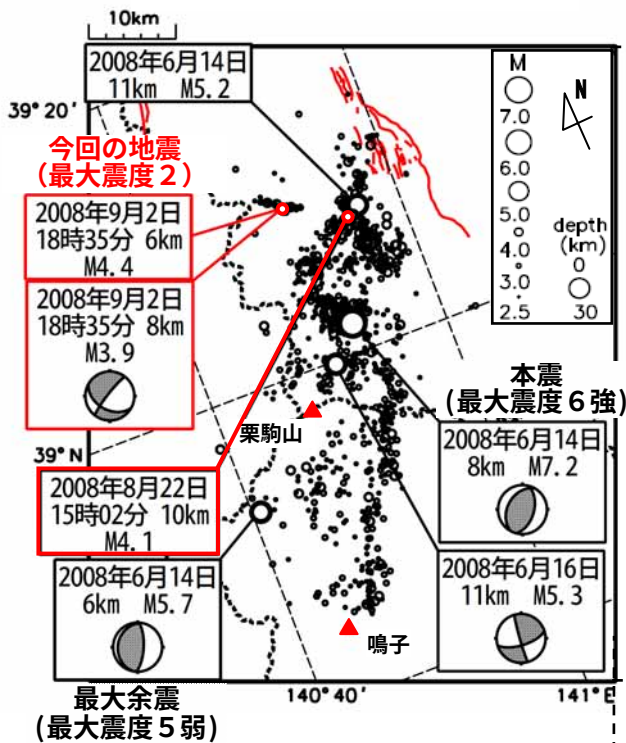
平成 20 年(2008 年)岩手・宮城内陸地震の余震活動

平成 20 年(2008 年)岩手・宮城内陸地震 (M7.2) の余震活動は次第に減衰している。

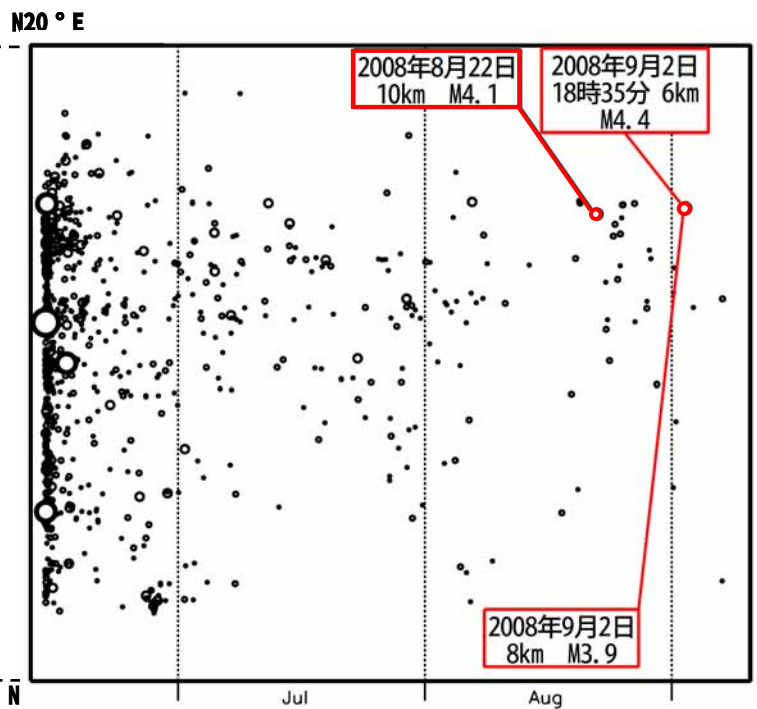
8 月以降の余震活動を見ると、余震域の北側で 8 月 22 日に M4.1 (最大震度 2) の地震が、9 月 2 日には M3.9 及び M4.4 (最大震度 2) ^注が発生したが、余震活動に特段の変化はみられない。

震央分布図

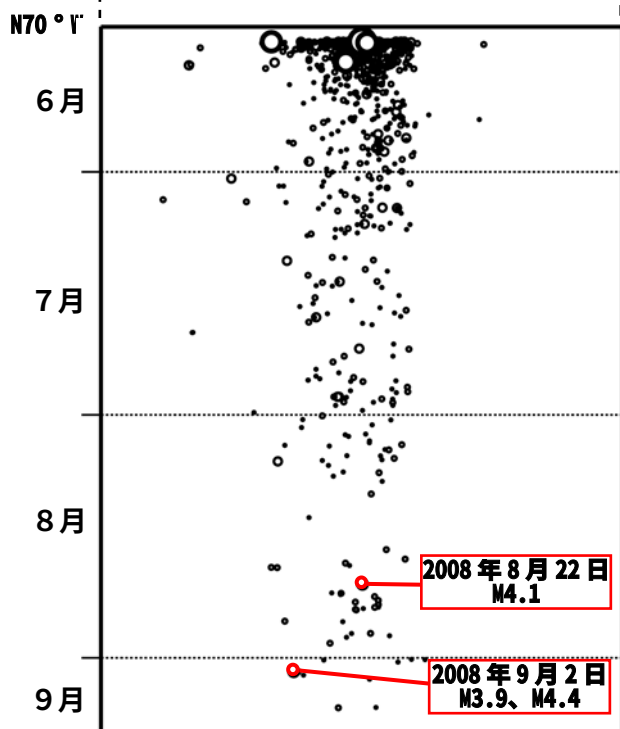
(2008 年 6 月 14 日 08 時～9 月 8 日 24 時、
M $\geq$ 2.5、深さ 30km 以浅)



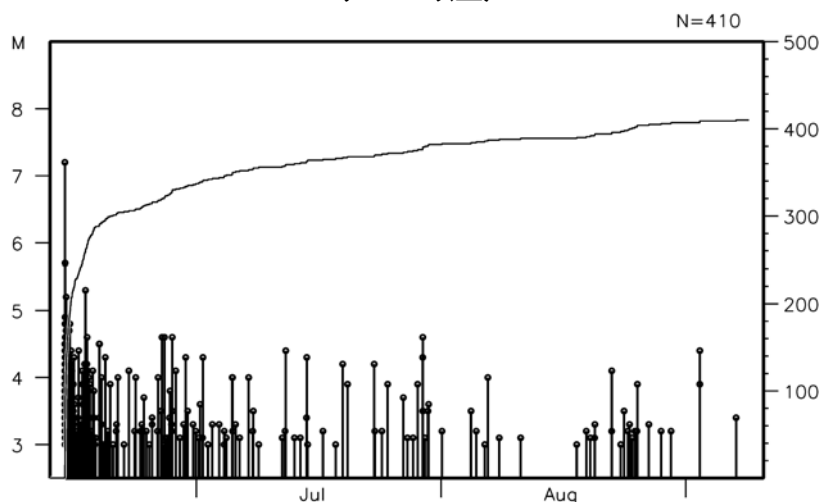
左図の時空間分布図



上図の時空間分布図



左上図内の地震活動経過図及び回数積算図
(M3.0 以上)

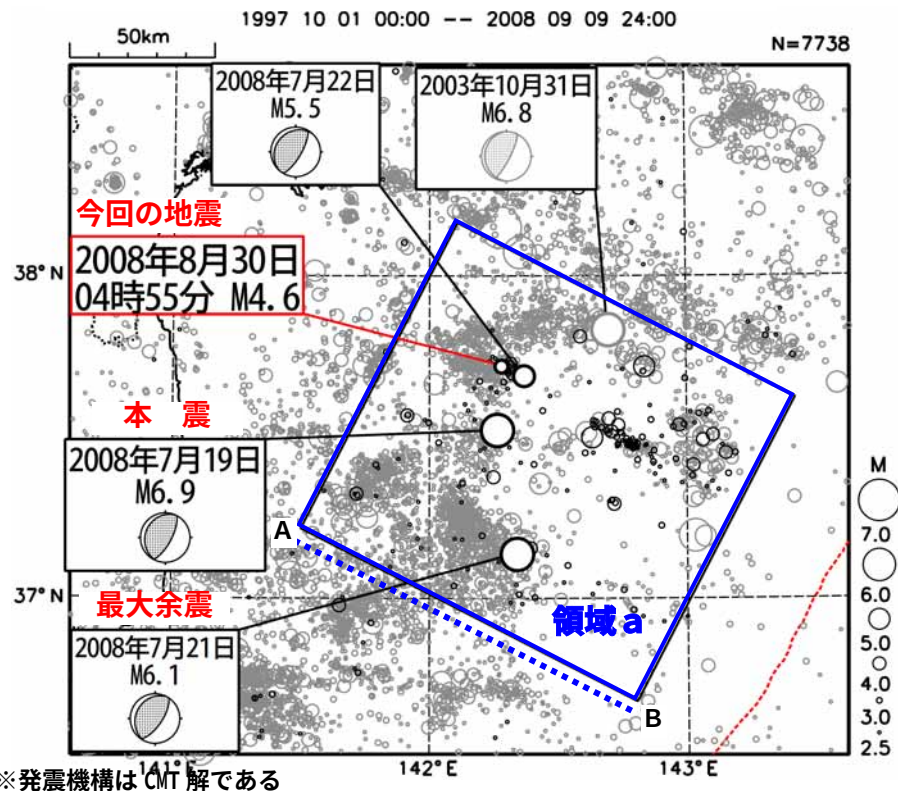


注：2008 年 9 月 2 日の M3.9、M4.4 の地震は、近接した場所でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができない。

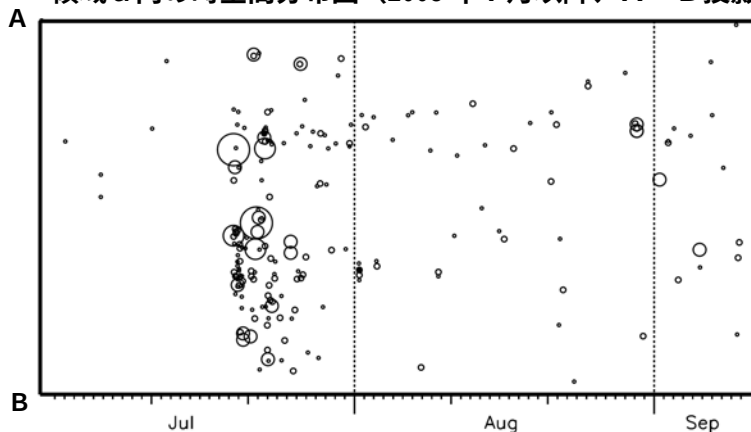
7月19日 福島県沖の地震活動

2008年7月19日11時39分に福島県沖で発生した地震（M6.9、最大震度4）の余震活動は減衰してきている。8月中の最大の地震は30日のM4.6（最大震度2）であった。

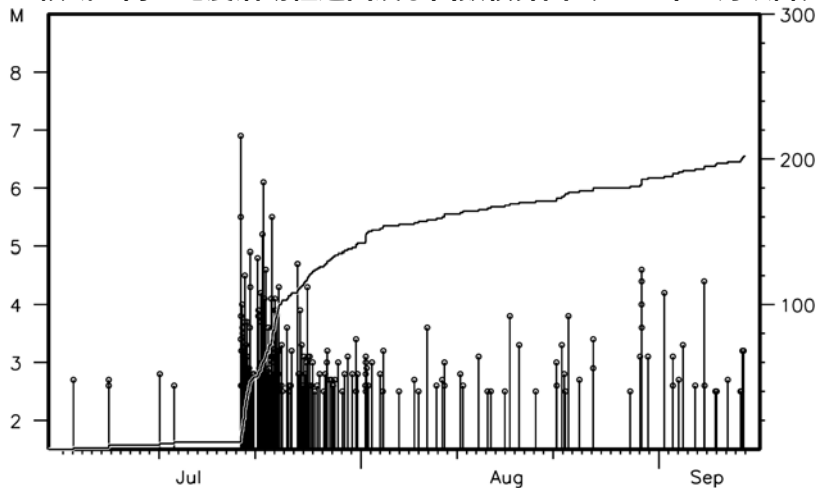
震央分布図（1997年10月以降、 $M \geq 2.5$ 、深さ0~150km）



領域a内の時空間分布図（2008年7月以降、A-B投影）



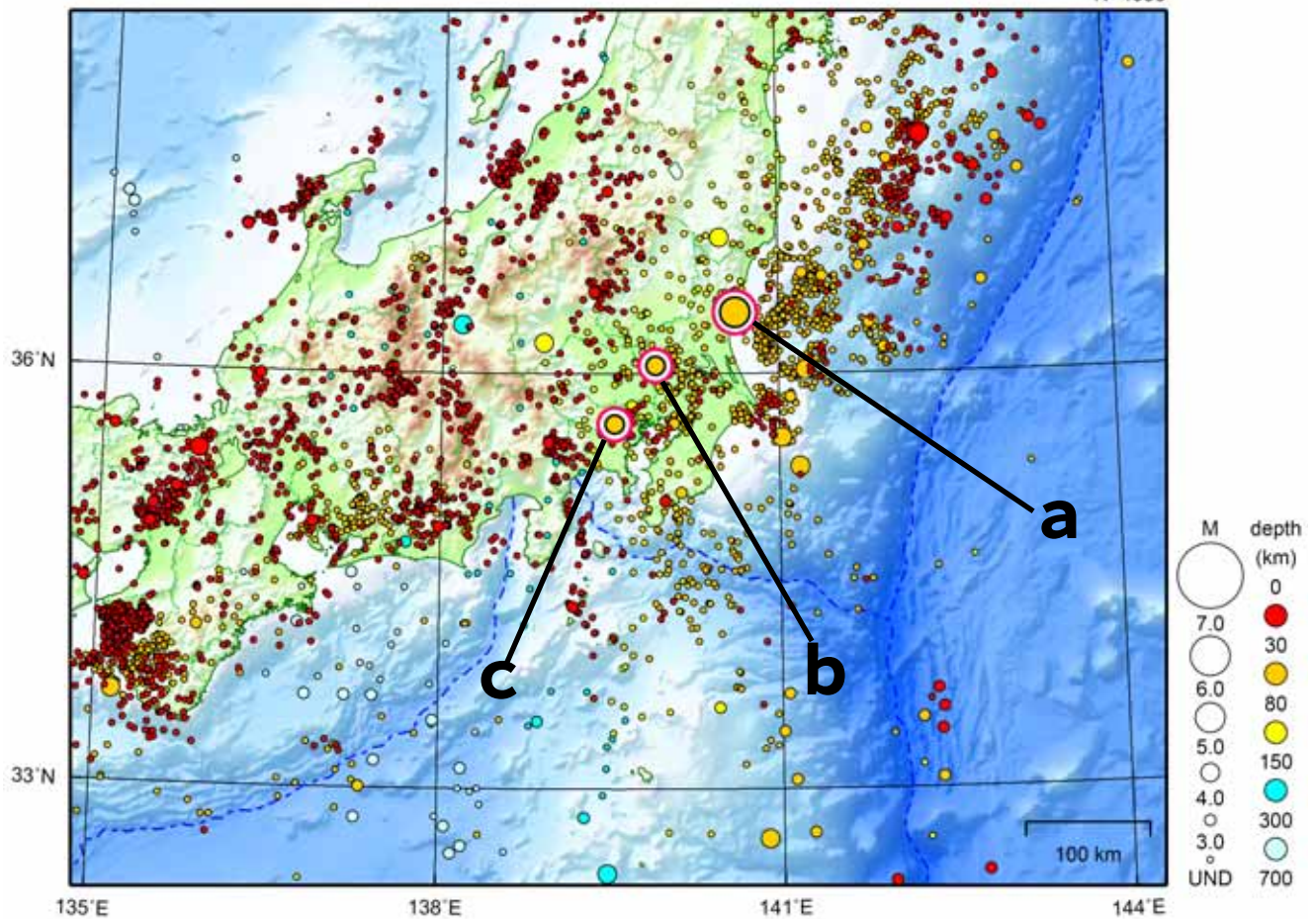
領域a内の地震活動経過図及び回数積算図（2008年7月以降）



関東・中部地方

2008/08/01 00:00 ~ 2008/08/31 24:00

N=4939



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- a) 8月22日に茨城県北部〔茨城県沖〕で M5.2（最大震度4）の地震があった。
- b) 8月20日に茨城県南部で M4.6（最大震度4）の地震があった。
- c) 8月8日に神奈川県東部〔東京都多摩東部〕で M4.6（最大震度4）の地震があった。

〔 〕は気象庁が情報発表に用いた震央地名

〔上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。〕

〔 〕内は気象庁が情報発表に用いた震央地名

2008 年 1 月以降を濃く表示。

20km

36°N

1931年6月17日 M6.3

1923年11月5日 M6.3

領域c

1944年3月19日 M5.3

1926年8月3日 M6.3

1923年9月1日 M7.9

関東地震

2008年8月8日 M4.6

今回の地震

35°30'

35°N

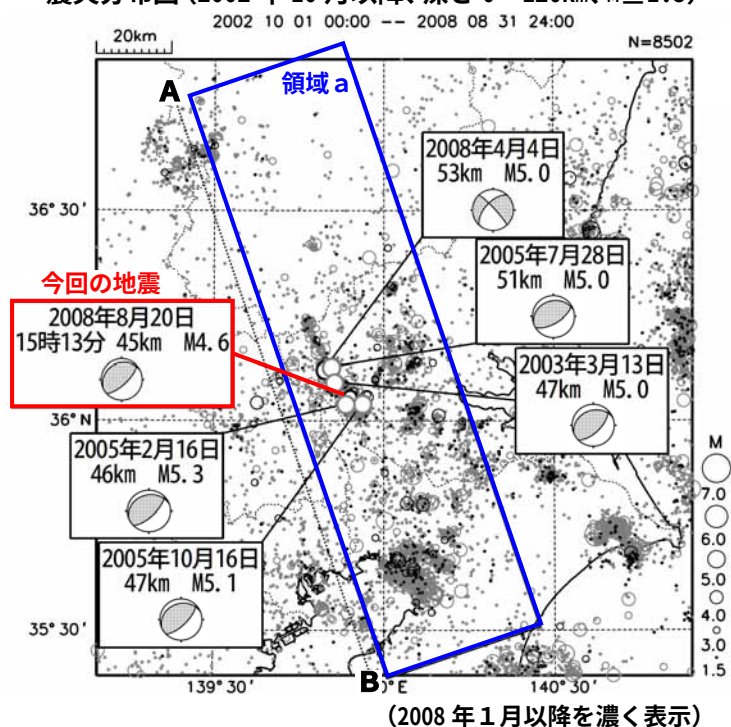
139°E 139°30' 140°E

N=1293

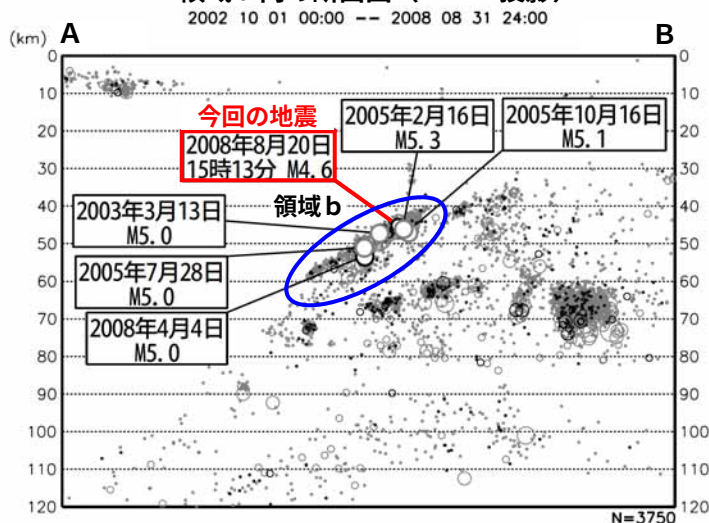
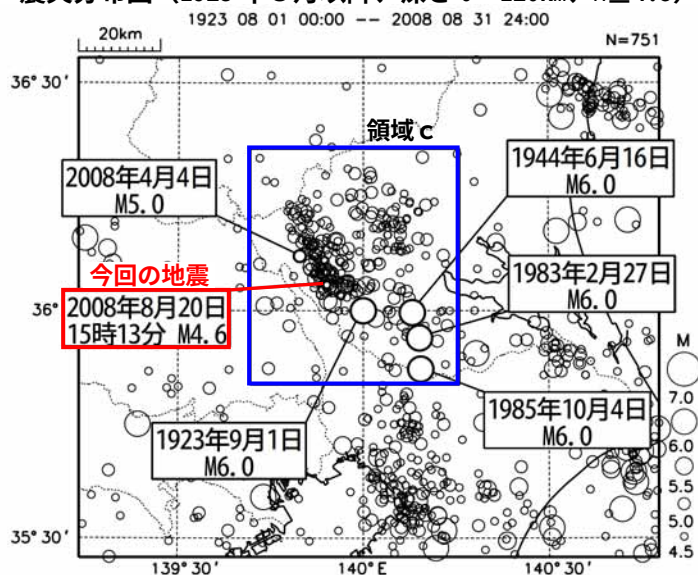
M 7.0 6.0 5.0 4.0

気象庁作成

8月20日 茨城県南部の地震

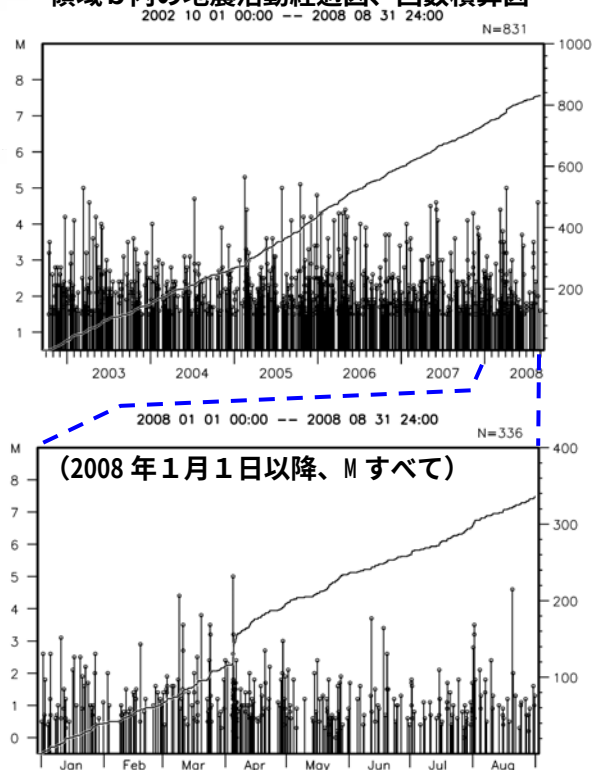
震央分布図 (2002 年 10 月以降、深さ 0~120km、 $M \geq 1.5$)

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

震央分布図 (1923 年 8 月以降、深さ 0~120km、 $M \geq 4.5$)

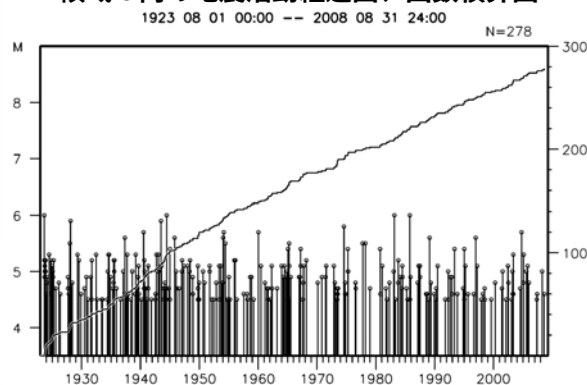
2008年8月20日15時13分に茨城県南部の深さ45kmでM4.6（最大震度4）の地震が発生した。発震機構は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。今回の地震の震源付近には地震活動の活発な領域（領域b）が存在しており、2005年2月16日にM5.3（最大震度5弱）の地震が発生するなど、M5.0前後の地震が1～2年に1回程度の割合で発生している。

領域b内の地震活動経過図、回数積算図



1923 年 8 月以降、今回の地震の震央付近（領域 c）では、M6 程度の地震が時々発生しているが、M7 クラスの地震は発生していない。

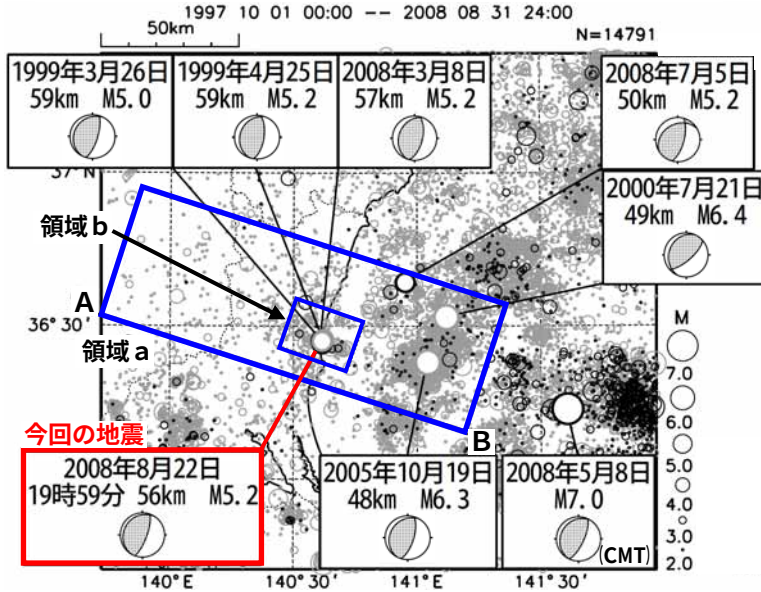
領域 c 内の地震活動経過図、回数積算図



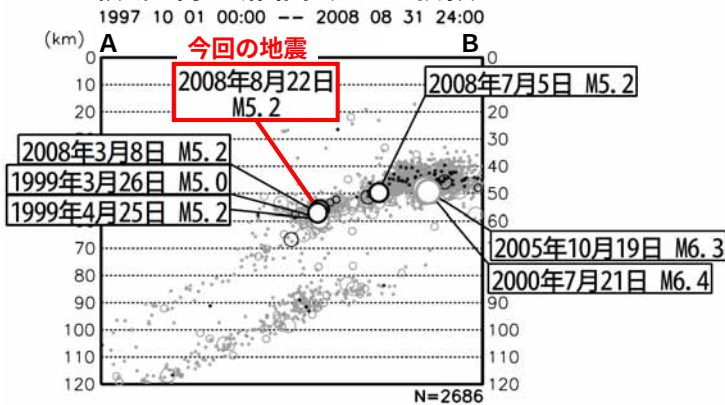
8月22日 茨城県北部〔茨城県沖〕の地震

〔 〕内は気象庁が情報発表に用いた震央地名

震央分布図 (1997年10月以降、深さ0~120km、 $M \geq 2.0$)
(2008年3月以降の地震を濃く表示)

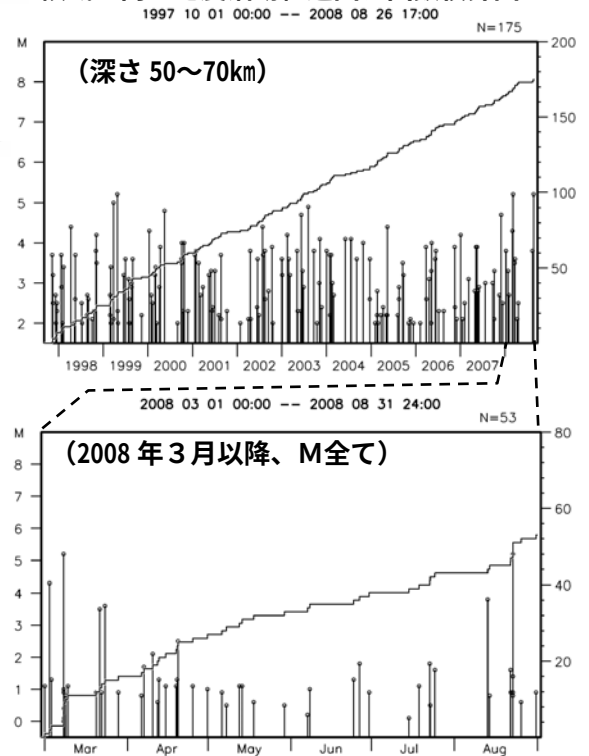


領域a内の断面図 (A-B投影)

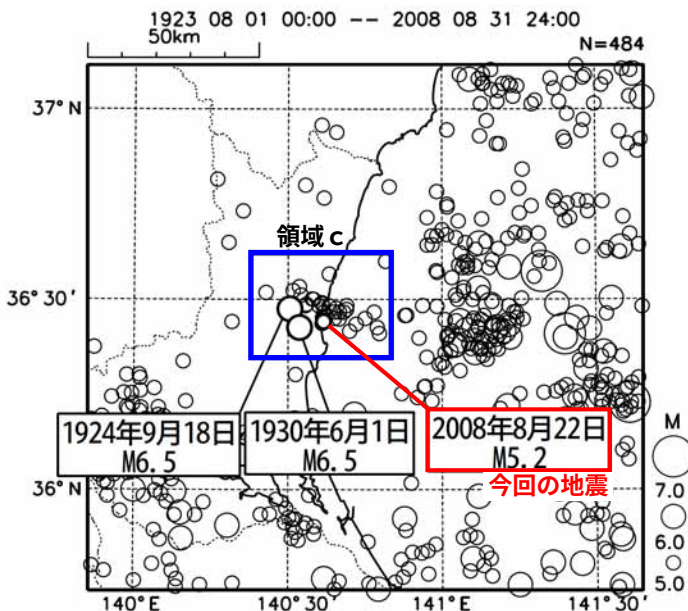


2008年8月22日19時59分に茨城県北部〔茨城県沖〕の深さ56kmで $M5.2$ (最大震度4)の地震が発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。今回の地震の震源付近(領域b)には、2008年3月8日に $M5.2$ (最大震度4)の地震が発生するなど、地震活動が活発な領域があり、最近では $M5.0$ 前後の地震が4~5年毎に発生している。

領域b内の地震活動経過図、回数積算図

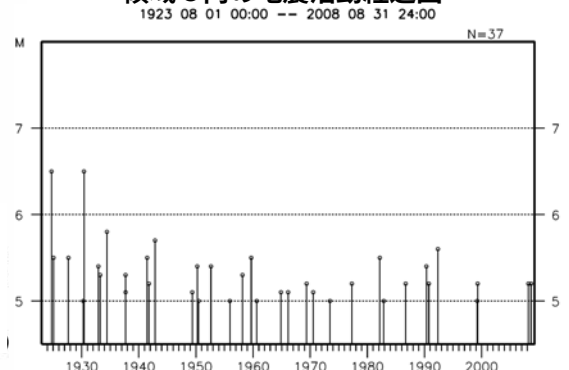


震央分布図 (1923年8月以降、深さ0~120km、 $M \geq 5.0$)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域c)では、 $M7$ クラスの地震は発生していない。1924年と1930年に $M6.5$ の地震が発生しているが、それ以降 $M6.0$ を超える地震は発生していない。

領域c内の地震活動経過図



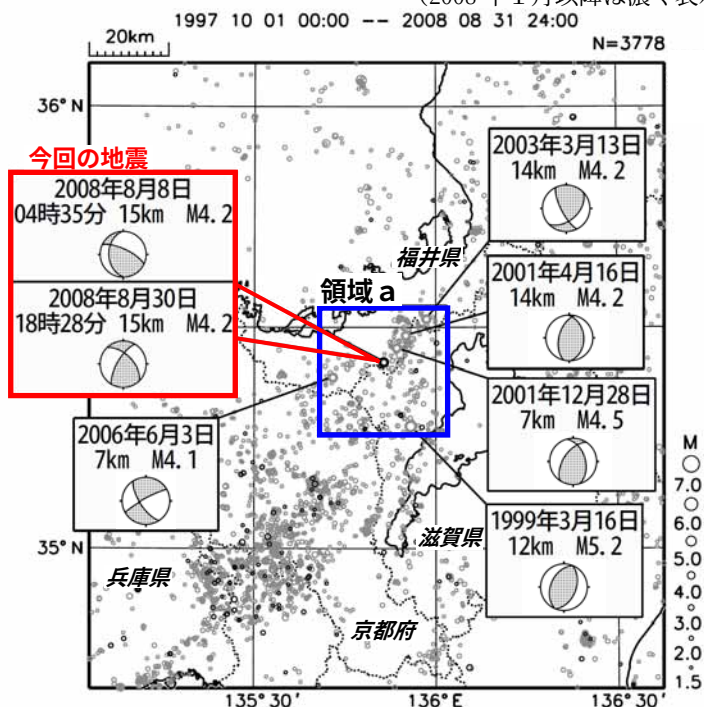
気象庁作成

8月8日、30日 福井・滋賀県境付近〔滋賀県北部〕の地震

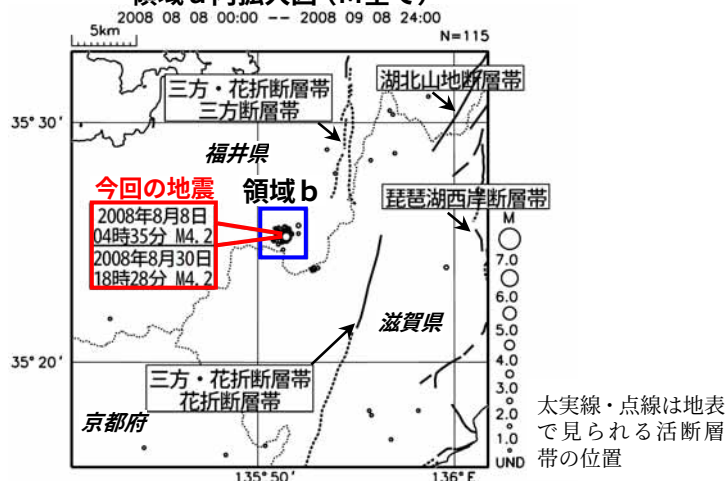
震央分布図（1997年10月以降、 $M \geq 1.5$ 、深さ30km以浅）

〔 〕内は気象庁が情報発表に用いた震央地名

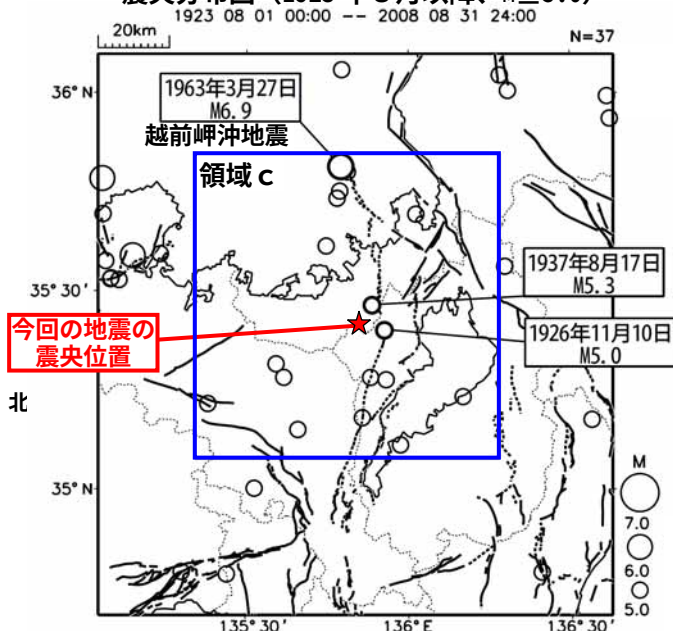
（2008年1月以降は濃く表示）



領域a内拡大図（M全て）

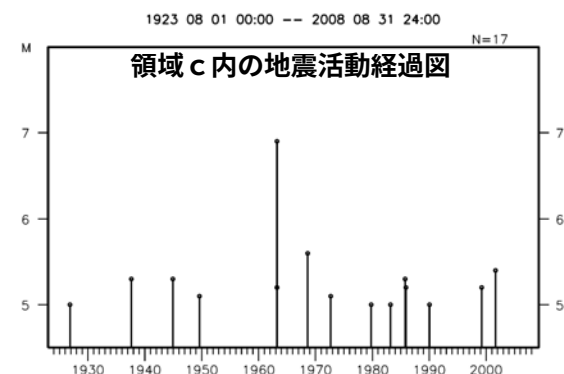
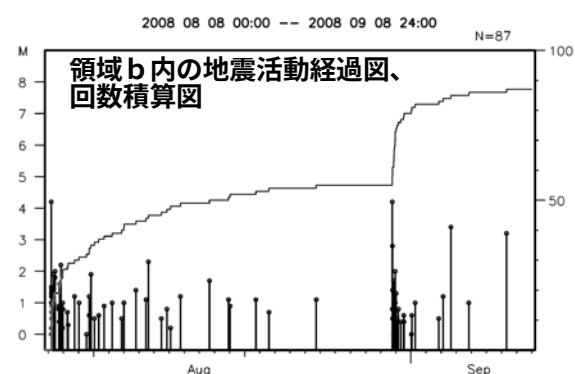
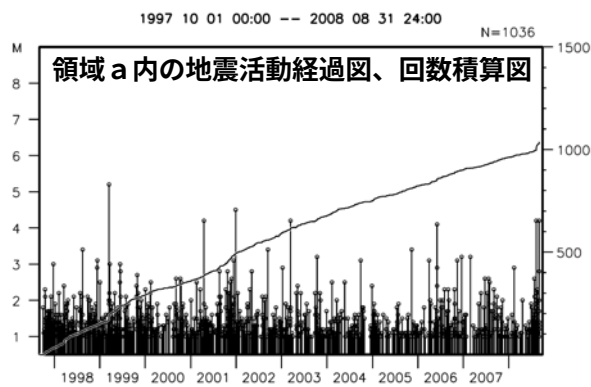


震央分布図（1923年8月以降、 $M \geq 5.0$ ）



2008年8月8日04時35分に福井・滋賀県境付近〔滋賀県北部〕の深さ15kmでM4.2（最大震度3）の地震が発生した。この地震の余震活動がほぼ収まったあと、8月30日18時28分にほぼ同じ場所でM4.2（最大震度3）の地震が発生した。30日の地震の余震活動も一週間程度でほぼ収まっている。発震機構はそれぞれ北東―南西方向（8日）と東西方向（30日）に圧力軸を持つ型で、地殻内で発生した地震である。

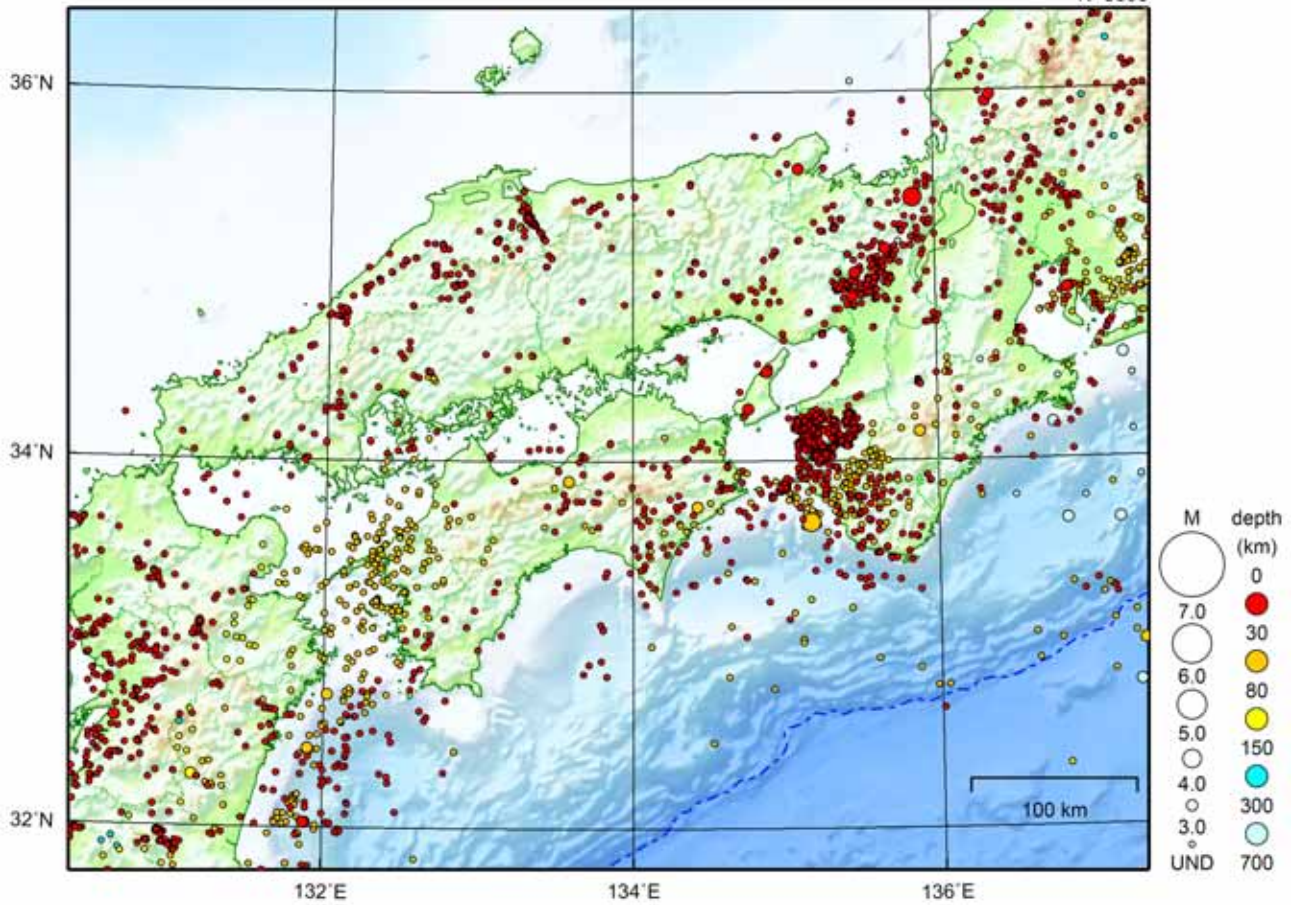
1923年8月以降、今回の地震の震央付近では、M5.0以上の地震が時々発生しているが、M6.0以上の地震は、1963年3月27日のM6.9の地震（「越前岬沖地震」、最大震度5）のみである。



近畿・中国・四国地方

2008/08/01 00:00 ~ 2008/08/31 24:00

N=3038



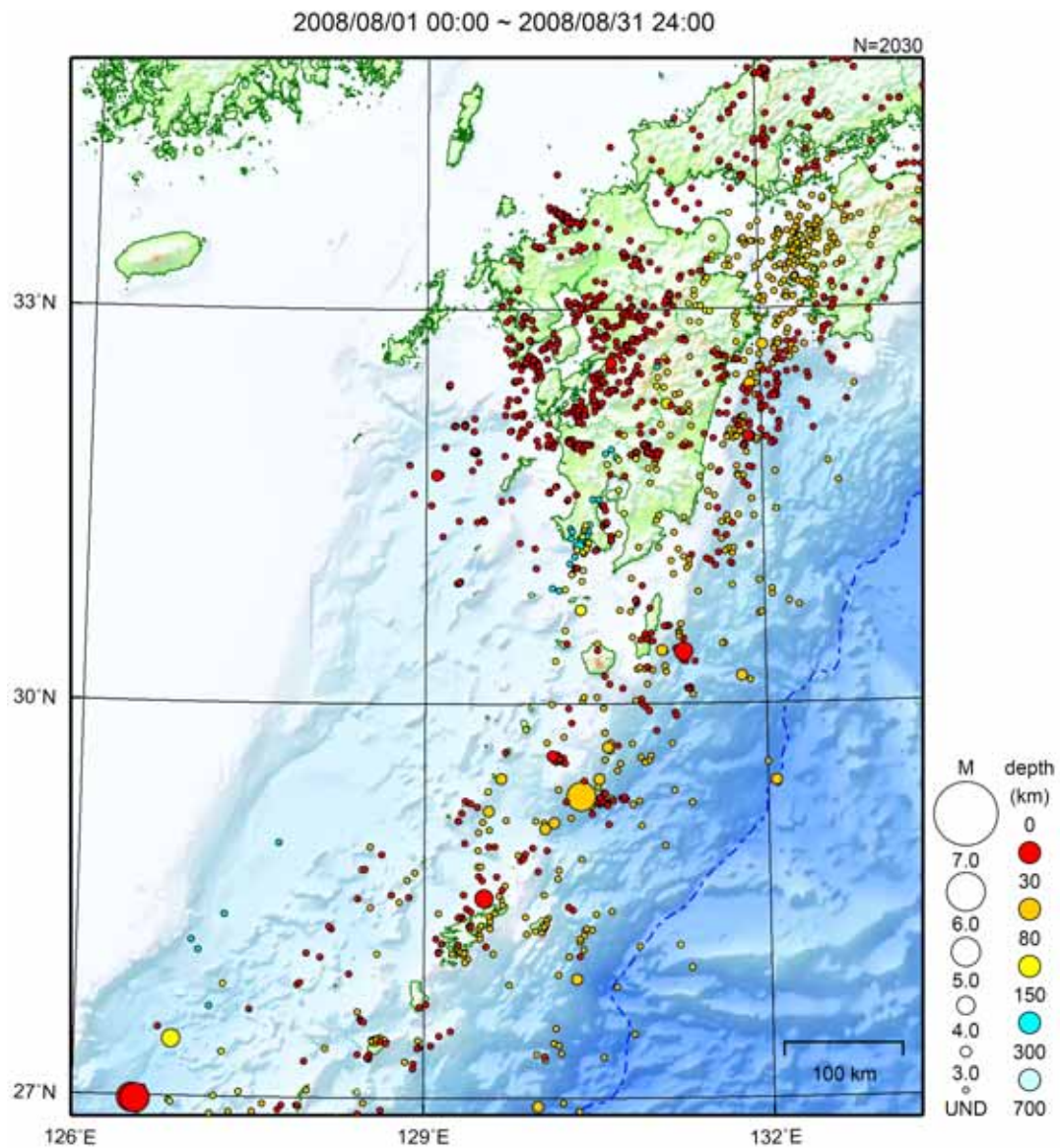
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

特に目立った活動はなかった。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

九州地方



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

特に目立った活動はなかった。

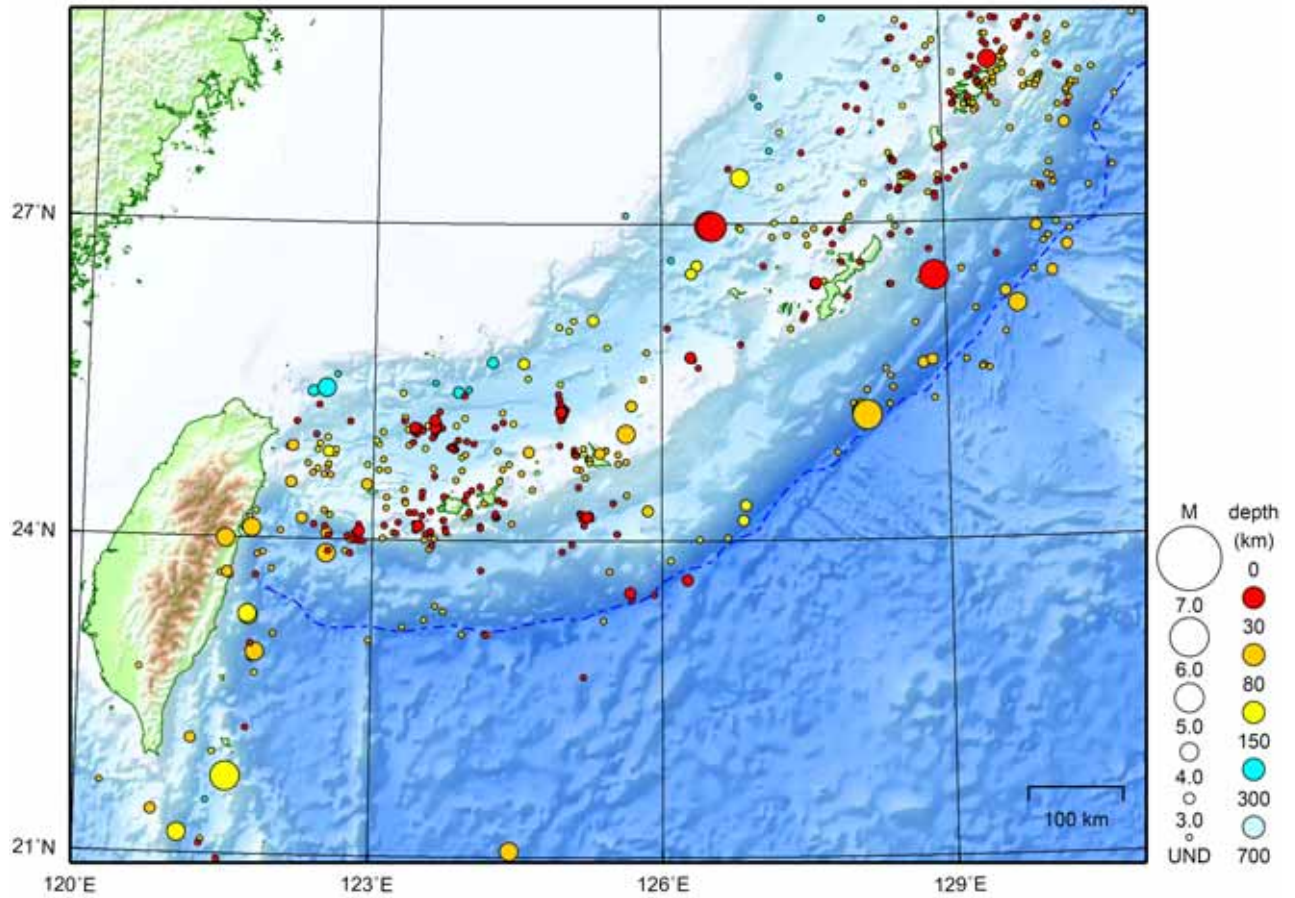
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

沖縄地方

2008/08/01 00:00 ~ 2008/08/31 24:00

N=771



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

特に目立った活動はなかった。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省